

大動脈弁位人工弁機能評価に関する研究

1. 研究の対象

大動脈弁狭窄症に対して大動脈弁置換術を施行された方。

2. 研究目的・方法

大動脈弁置換術において体格に比して小さい弁が留置され、有効弁口面積指数が $0.85\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下となった場合、「患者-人工弁ミスマッチ」が生じ長期予後に影響を与えるとされてきましたが、その指標の妥当性に関しては未だ議論の余地があります。本研究の目的は、心拍出量で補正した人工弁圧較差が新たな予後因子として有用かどうか評価・検証することです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 大森 崇弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：心臓血管外科 大森 崇弘

研究責任者・研究代表者：

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 平岡 有努